

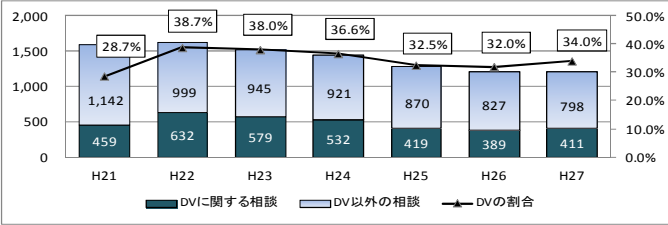
3 県内のDVの状況

【女性相談支援センター(配偶者暴力相談支援センター)実績】

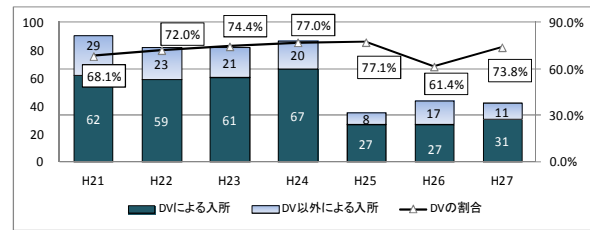
近年、相談件数は緩やかな減少傾向に、一時保護件数は25年度に大きく減少し、その後DVによる入所件数は微増している。うち、男性からの相談件数は年間数件程度で推移、男性のDV被害者の一時保護については、24年度に2件見られた。

一時保護の平均在所日数は11日から16日と2週間程度で推移しており、一時保護者のうち5割から7割の方が同伴者(うち約9割は中学生以下の児童。)を伴っている。また、精神的なケアが必要など、**複雑・多様な事情を抱えた対応困難なケースもあることから、引き続き関係機関との連携が必要。**

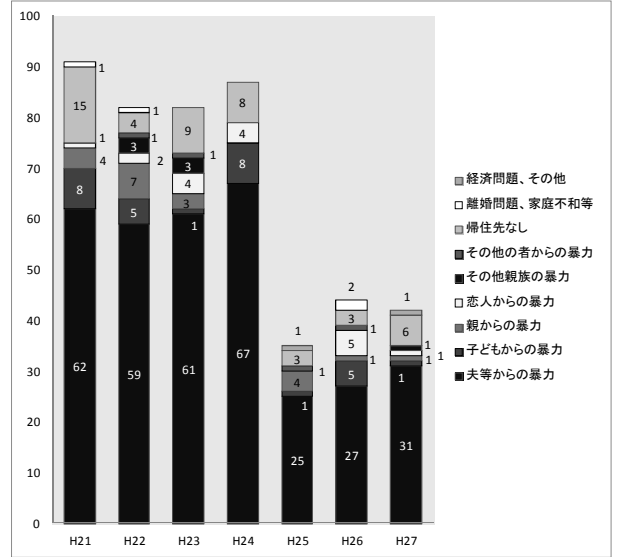
●相談件数推移(※月ごとの実人員を足したもの)



●一時保護件数推移



●一時保護理由別件数推移

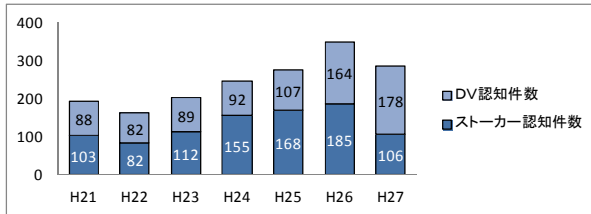


【警察・裁判所 DV関連実績】

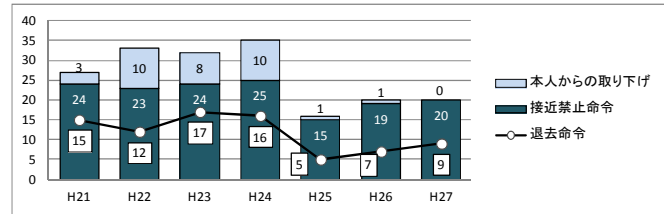
高知県警察では、DV事案に対しては事件化や加害者に対する指導・警告などを行っているものの、管内におけるDV及びストーカーの認知件数はいずれも増加傾向にある。

一方、裁判所からの接近禁止命令や退去命令は平成24年度をピークに減少したものの、25年度からは微増している。

●高知県警察におけるDV及びストーカー認知件数推移(暦年)



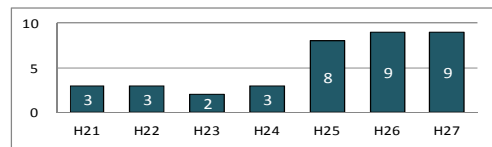
●DV防止法による保護命令の状況



【こうち男女共同参画センター「ソーレ」相談実績】

一般相談の窓口寄せられた、男性からのDVに関する相談(加害・被害)件数は、平成25年度に大きく増加して以来、横ばいの状況が続いている。

●男性からのDV相談(加害・被害)件数推移(※のべ件数)

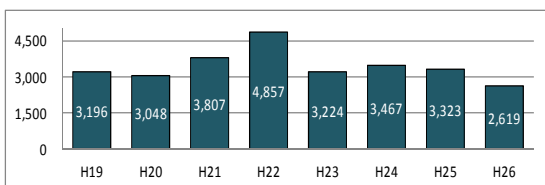


【民間シェルター「あいあいネット」実績】

相談件数については、平成22年度をピークに減少傾向にあるが、一時保護は件数及びのべ保護日数ともに増加傾向にある。DV被害者支援における民間シェルターの役割が重要なことから、県では、平成19年度から運営費補助を実施している。

(H19～:532千円、H20～:721千円、H28～1,000千円)

●相談件数推移(※のべ件数)



●一時保護件数推移

